

平成30年産

# 気仙沼・南三陸 稲作情報 第6号

平成30年7月2日発行

宮城県気仙沼農業改良普及センター

TEL 0226-25-8069 FAX 0226-22-1606

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-tihouken-n/kesennumanoukai.html>

## 食味向上へ向けた重点取組事項

- 有効茎数が確保されたら、直ちに中干しを実施しましょう。

## 今後の管理のポイント

- 斑点米カメムシ類の対策として、水田内の雑草防除を徹底しましょう。
- いもち病の発生に注意しましょう。

## 1 水稻生育調査ほの生育概況（移植）

- 本吉ひとめぼれでは、草丈、葉数は平年並、茎数は平年を下回っています。
- 志津川ひとめぼれ、だて正夢及び管内の生育も概ね順調に経過しているものと見られます。

表1 水稻生育調査結果（7月2日）

品 種 地区名		田植日	栽植密度 (株/㎡)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色 (GM)
ひとめぼれ 気仙沼市（本吉町）	本 年	5月15日	19.3	44.4	470.9	9.3	37.4
	平年比・差	+1	97%	102%	83%	-0.1	93%
ひとめぼれ 南三陸町（志津川）	本 年	5月18日	17.2	47.1	565.9	9.6	39.3
だて正夢 気仙沼市（本吉町）	本 年	5月16日	18.6	46.3	407.3	9.5	37.8

注1) 平年比・差は平成25年から平成29年までの5か年の平均値と本年調査結果の比較。

注2) 志津川ひとめぼれは本年度から、だて正夢は平成29年から調査開始のため平年値はなし。

## 2 気象の概況

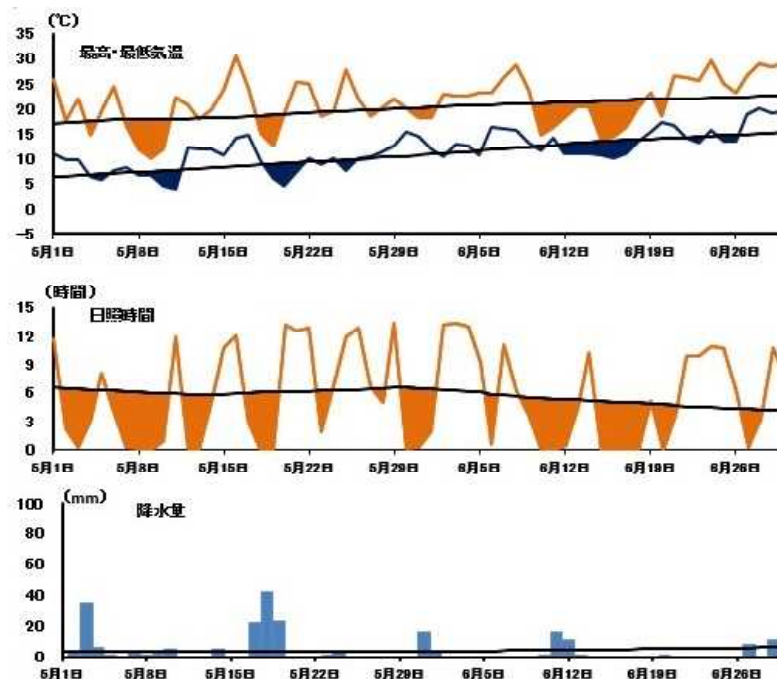


図1 気象経過図（気仙沼アメダス：5月1日～6月30日）

宮城県を含む東北南部は、平年より2日早い6月10日ごろに梅雨入りしたとみられます（仙台管区气象台発表）。梅雨明けの平年は7月25日ごろです。

### 3 直播栽培普及展示ほの生育概況（鉄コーティング湛水直播）

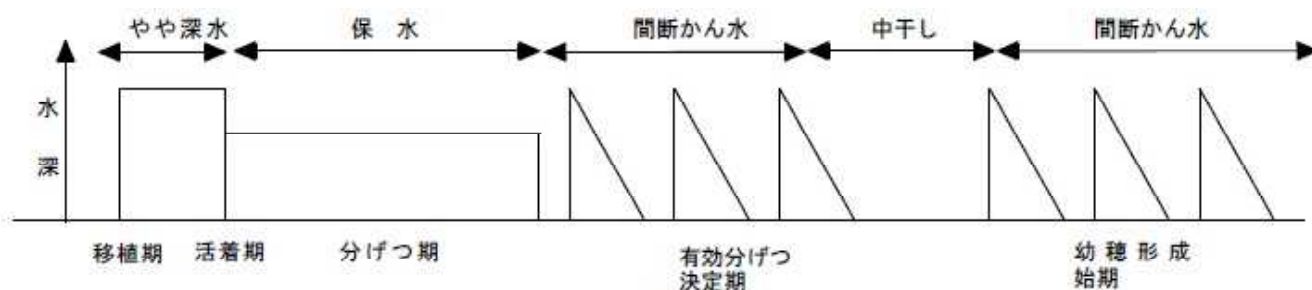
・気仙沼市本吉町の直播栽培普及展示ほについて、7月2日調査では、草丈は平年をやや上回り、茎数は平年並み、葉数は0.8枚少なくなっています。

表2 直播栽培普及展示ほ生育調査結果（7月2日）

品種 地区名		播種日	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (枚)	葉色 (GM)
ひとめぼれ	本年	5月15日	34.4	417.4	7.4	36.4
気仙沼市（本吉町）	平年比・差	+1	111%	97%	-0.8	89%

注）平年比・差（参考値）は平成26年から平成29年までの4か年の平均値と本年調査結果の比較。

### 4 今後の管理の留意点



#### 【中干し】

- ・根の健全化，倒伏抑制，無効分げつ抑制のため，有効茎数（表3）が確保されたほ場では，直ちに中干しを行いましょう。
- ・中干しの期間は7～10日程度です。遅くとも幼穂形成期までに終了しましょう。
- ・中干しの程度は，田面に小さな亀裂が入り，足跡がつく程度の固さとしましょう。
- ・中干し終了後，急に湛水状態にすると土壤の還元が進み，根を傷めます。走り水で飽水管理を行い，徐々に間断かん水に切り替え，根の活力維持に努めましょう。
- ・中干しが難しい水田では，水田の足跡に水がなくなったら入水し，表土が十分に湿ったら落水する飽水管理を行い，土壤を酸化的に保ち，稲体の活力を維持しましょう。

表3 適正籾数及び品質を確保するための生育目標値「ひとめぼれ」

	分げつ最盛期頃	最高分げつ期頃	幼穂形成期頃 (出穂25日前頃)	減数分裂期頃 (出穂15日前頃)
草丈・稈長(cm)	32～34	45～48	56～59	66～69
茎数・穂数(本/m <sup>2</sup> )	310～360	460～520	470～530	450～500
葉緑素計値	41～44	40～42	38～40	35～37

※管内の出穂盛期8月6日頃（平年）。

#### 【雑草防除】

- ・雑草が残っているほ場では，雑草の種類や葉齢，稲の葉齢を確認し，中・後期除草剤で適期に防除しましょう。

## 【病害虫防除】

### ①いもち病

#### 発生予察第4号（平成30年6月21日，宮城県病害虫防除所）

病害虫名	発生時期 (発生開始期)	発生量
葉いもち	平年並 (7月第1半旬:7/1~7/5)	平年並

- ・葉いもちは，直接収量や品質に影響を及ぼす穂いもちの伝染源となります。病徴が進展してからの防除では十分な効果が期待できないため，水田をこまめに見回り，早期発見・早期防除に努め，葉いもちの発生が見られたときには，茎葉散布剤で直ちに防除してください。
- ・最新の葉いもち感染好適条件の出現状況は，県病害虫防除所ホームページで確認できます。  
(<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html>)



いもち病の病斑（進行型病斑）



いもち病の病斑（停滞型病斑）

### ②コバネイナゴ

#### 発生予察第4号（平成30年6月21日，宮城県病害虫防除所）

病害虫名	発生時期 (侵入盛期)	発生量
コバネイナゴ	やや早い (7月第2半旬7/6~7/10)	多

- ・中齢幼虫（体長1.5cm程度）になると本田に侵入します。齢が進んでから薬剤散布を行うと効果が低下するので，本田侵入盛期を目安に防除を行いましょう。

### ③斑点米カメムシ類

- ・畦畔や農道，雑草地，休耕田等のイネ科雑草は，カメムシ類の主な増殖源となるので，計画的な草刈りを行い，カメムシ類の増殖を抑えましょう。畦畔などの草刈りは，出穂10日前までには終わらせましょう。
- ・水田内のノビエ，イヌホタルイ，シズイ等も増殖源になります。生息密度を低減させるため，中・後期除草剤等により除草しましょう。

## 5 今後の気象

東北地方 1か月予報  
(6月30日から7月29日までの天候見通し)  
平成30年6月28日  
仙台管区气象台 発表

### <特に注意を要する事項>

期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性があります。

### <予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率80%です。2週目は、高い確率50%です。

### <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	20	30	50
【降水量】	東北地方	30	30	40
【日照時間】	東北地方	40	40	20

### <気象経過の各階級の確率(%)>

		低い	平年並	高い
1週目	東北地方	10	10	80
2週目	東北地方	20	30	50
3~4週目	東北地方	30	40	30

### <予報の対象期間>

- 1か月：6月30日(土)~7月29日(日)
- 1週目：6月30日(土)~7月6日(金)
- 2週目：7月7日(土)~7月13日(金)
- 3~4週目：7月14日(土)~7月27日(金)

6月1日~8月31日は「農薬危害防止運動」の実施期間です。

- ・次回の水稻生育調査は7月10日(火)に行います。
- ・次号の「気仙沼・南三陸稲作情報」は7月中旬の発行を予定しています。